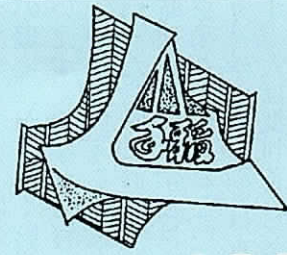


てね



No. 129

札幌手稲高等学校PTA広報誌



男子ハンドボール部



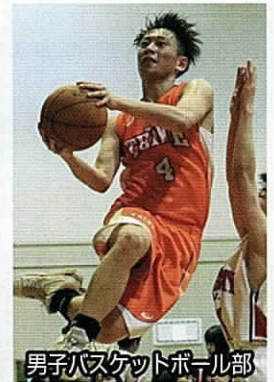
男子テニス部



男子バレーボール部



陸上競技部



男子バスケットボール部



空手道部



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部



女子ハンドボール部



空手道部



女子テニス部



男子バドミントン部



卓球部



弓道部



女子バドミントン部



「学ぶとは真似ぶ(まね)」

PTA会長 田中正浩

夏の訪れを謳歌するような蝉時雨、真つ青な空に入道雲が湧き上がる盛夏の季節となりました。

会員の皆様、後援会や稲国会、加えて地域の皆様には本校PTA活動にご理解とご協力、更には絶大なご支援を頂いておりますことに衷心より深く感謝を申し上げます。

また日頃よりご指導いただいている学校長はじめ教職員の方々に厚く御礼申し上げます。

新年度が始まり、早三カ月が経過し生徒諸君は将来の目標達成のため一生懸命努力していることと思います。

さて学校は「人格形成」の場であると私は考えます。では人格とはどのように形成されるのでしょうか。主な要因としては「生まれ持った気質」先天性、「生まれてからの環境」後天性、この二つから人格が形成されていきます。特に「生まれてからの環境」が大きく影響するとされています。すなわち育つ環境がいかに大切かということになります。そういった意味においては一日の多くの時間を過ごす学校は大変大きな役割を果たしているといつてよいでしょう。学ぶの語源は真似ぶであり、まねです。人は批判されて育つと人を責めることを、憎しみの中で育つと人と争うことを、嫉妬の中で育つと人をねたむことを真似びます。一方正直

さと公平さを見て育つと真実と正義を、励まされて育つと自信を持つことを、褒められて育つと人に感謝すること、自分が好きになることを、努力を認められて育つと目標を持つことを、安心して与えられて育つと自分や人を信じることを、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと生きることは楽しいことであることを、まわりから受け入れられて育つと世の中が愛であふれていることを真似びます。

人格形成に優れ、のびのび学び成長してゆくための教育環境の整備こそ、今の手稲高校の学校教育に求められているものと考えます。そのためには教員と保護者の相互の信頼関係の更なる構築をはかることが重要であり学校、家庭、地域の連携と協力が不可欠であります。人格形成と共に社会を構成し運営するとともに自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力「人間力」に優れた生徒の育成に努めることで地域の強い要請を受け開校した進学校としての真の役割を果たし後世に残る札幌手稲高等学校であると私は考えます。

最後に真摯なる生徒諸君にこのことを贈ります。努力は能力を上回り、気力は素質を上回る。



「出迎えしモノたち」

校長 青木秀司

札幌手稲高等学校は、校長となつて三校目の勤務校である。

記念すべき一校目・余市紅志高校の校長室での出迎えしモノは、カメラムシであった。連日、大量・多種のカメムシが360度の広角で出沒した。当然のごとく住宅でもカメラムシとの格闘は続いた。

カメラムシからの解放を願った二校目・小樽桜陽高校の校長室での出迎えしモノは、蜘蛛であった。随分長い間生活していたとみえて、手足がたいそう成長していた。申し訳なかつたが、苦手な風体だったので窓から強制外出していただいた。

果たして、三校目・札幌手稲高校の校長室での出迎えしモノはというと、結構大きなゲジゲジであった。神の使い？想定すらしていなかつた難敵との出会いに私は珍しく怯んでしまった。

というのも、大量のゲジゲジが縦横無尽に闊歩する住宅での生活に耐えきれず、引越しを余儀なくされた経験から、日々の大半を過ごす校長室でゲジが出没することを考えると少なからず気持ち落ち込んだ。札幌手稲に着任して早二ヶ月以上

が経過した。幸いなことにゲジの姿はあれつきり見かけていない。でも、きつと何かの物陰、暗がりから散歩の機会を伺っているに違いない。私は、そう思っている。

というのも、そう思い続けることで私の、この部屋での緊張感が維持できるからでもある。大変な責任のある判断をしなくてはならない場面がある。緊張感は欠かせない。そう考えるとゲジには感謝してもいいのかもしれないと思っている。

新たな環境にも少しではあります。慣れてきた今日この頃です。是非とも、生徒はもとより保護者の方々も校長室に「出沒」していただきたい。そして、たくさんの情報を提供していただきたい。

この部屋の窓から見える景色は狭いものです。そして、この部屋のドアや壁を透して聞こえてくる話には限りがあります。是非、もっと広い景色と深いお話を私に見せて聞かせてください。今となつてはゲジの姿も無いこの部屋で、私が皆さんを出迎えたいと思っております。

ご来室をお待ちしております。

新任紹介

質問

- 一、前任校
- 二、趣味・特技
- 三、手稲高校の印象
- 四、保護者の皆さんへひと言



青木 秀司

(校長・授業ができるなら英語)

- 一、小樽桜陽高等学校
- 二、料理
- 三、お行儀の良い、生徒が多い学校
- 四、新校長 見た目ほどには 怖くない



小形 和律

(教頭・数学)

- 一、札幌厚別高等学校
 - 二、音楽鑑賞・楽器演奏(トロンボーン)
 - 三、素直で一生懸命頑張る生徒が多い印象です
 - 四、「愛と力と夢よあふれよ」体現していきたいでしょう
- どうぞよろしく願っています。



伊藤 修吾

(教諭・数学)

- 一、札幌平岡高等学校
- 二、バイクでちよっとお買い物。特技ではないけれどユーザー車検
- 三、校舎がアンティーク(ポロ古)。耐震性は大丈夫?
- 四、話下手な不器用な人間です。よろしくお願します。



百瀬今朝尋

(教諭・理科)

- 一、室蘭東翔高等学校
- 二、スキー・登山

- 三、手稲山がいつ見てもきれいで素晴らしい。素直で気持ちの良い生徒。子供さんの進路実現が叶うように精一杯頑張ります。



村上 豪章

(教諭・数学)

- 一、静内高等学校
- 二、釣り
- 三、真面目に何事にも取り組む生徒が多い。微力ではありますが、生徒・学校の力になれるよう頑張ります。よろしくお願致します。



綿井 博一

(教諭・理科)

- 一、興部高等学校
- 二、写真撮影・推理小説読破・鉄道の旅
- 三、授業を受ける生徒の真剣な眼差しに感動。赴任当初の第一体育館が極寒。
- 四、生徒の進路実現に向けて、精一杯努力させていただきますので、宜しくお願致します。



谷口 智哉

(教諭・数学)

- 一、登別青嶺高等学校
- 二、スポーツ観戦
- 三、何事にも一生懸命頑張る生徒が多い
- 四、早く学校に慣れ、生徒のために頑張っていきます。よろしくお願致します。



松田 雅人

(教諭・数学)

- 一、札幌東高等学校(定年退職後、再任用で赴任しました)
- 二、写真・クロスバイク・海釣り
- 三、校舎は古いが生徒の礼儀と挨拶はすばらしく、誠実さが感じられるすがすがしい印象です。
- 四、誠実で自己実現に向けて努力を惜しまない

生徒のために、数学を通して支援したいと思っております。よろしくお願致します。



齋藤美津恵

(主任主事)

- 一、高等聾学校
- 二、本屋に行くこと。
- 三、生徒が元気に挨拶してくれて、勉強やクラブ活動に熱心に取り組んでいる。
- 四、生徒がより良い環境で学校生活を送れるようにしたいと思っております。よろしくお願致します。

モニター委員会 校外モニター

PTAモニター委員長 大野 千秋

本年度もモニター委員会による校外モニターが実施されています。

校外モニターとは各学年八名から成るモニター委員が期間中(本年度は四月二十四日～九月二十八日)、数回登下校中の時間帯に生徒の様子を観察し気になることがあれば学校へ報告する、という活動です。

六月二十四日の第一回報告会で各々観察して感じたことや気付いた点について話し合いました。冒頭の教頭先生の挨拶の中で、モニターの言葉があり、確かに保護者が直接、手稲高校生の学校生活を垣間見ることがができる貴重な活動であると改めて感じました。

今回の報告では、自転車の並走がとて危険だったとの意見が最も多く聞かれました。事故等の被害に遭うだけでなく、加害者にもなってし

芸術鑑賞

芸術科 宮田 敦生

もう可能性があります。生徒の皆さん一人一人に安全に対する意識を改めて持つて頂ければと思います。その他服装や態度については高評価で、誇らしく感心したという感想がほとんどでした。

生徒たちの安心安全な学校生活のあり方を考える機会を与えられたことに感謝しつつ、引き続きモニター委員として観察、報告をして参ります。ご家庭でもぜひ、マナーや安全についての話題をお子様として頂けたらと思います。

三年に一度開催される学校行事である芸術鑑賞が五月二日札幌市教育文化会館に於いて開催されました。「EDDIE」という演劇で、プロボクシングにおいて名トレーナーと言われた、故エディ・タウンゼント氏を主人公として描かれたもので、劇団インクによる公演でした。観劇後の生徒の感想です。

・ 難しそうな話だなと思ったけど、実際観てみると、面白い場面がたくさんあって、物語に入り込んだような感じがしました。最後のほうはエディの一つ一つの言葉がすごく心に響いて感動しました。エディを観る機会があって本当に良かったです。

・ 演劇について興味を持つきっかけとなりました。今回の芸術鑑賞を通して、人として何が大切なのか、スポーツをやるうえで何が大切なのか

か学ぶことができず、今回学んだことをこれからの生活にいかしていきけるように頑張りたいです。

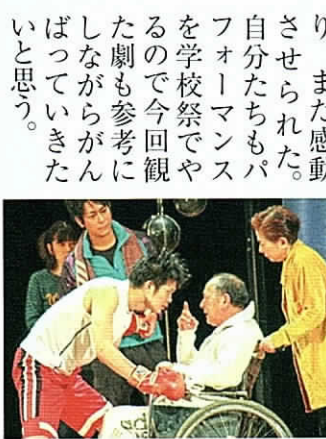
観る前はボクシングの話？もって感動的なものが観たいなって思っていました。でも実際観たらとても感動して、涙が出てしまいました。エディさんの声と言葉、一つ一つが心にじーんときました。もう一回観たいなって思います。芸術鑑賞は毎年やって欲しい行事でした。

世の中に勝者というものは必ず生まれ、敗者というものは必ず生まれてしまう。この劇にはそのような世間が見放す敗者に優しく手を差し伸べるエディが出てくる。私はこの劇を観て人に大切なのは逆境の時ほど支えてくれる彼のような人であると感ずることができた。

とても感動する演劇でした。よくテレビ画面で舞台を目にすることはありますが、実際に眼で観て近くで感じ取ってみると、画面では分からない細かい表情、感情の使い方が伝わってきました。実話をもとにした話ということもありリアリティがすごかったです。

初めて舞台で劇を観たのでその迫りに圧倒された。ストーリー性がしっかりとあって内容としても面白いものであり、また感動させられた。

自分たちもパフォーマンスを学校祭でやるので今回観た劇も参考にしながらがんばっていきたいと思う。



宿泊研修

日記

一年一組 依田みや美

私は新しい環境に慣れるのが遅く、入学すぐから友達との接し方さえわかりません。だから今回の宿泊学習も、とても不安で心配でした。でも話した事がなかった友達ともおしゃべりしたり、どんな人なのかを知った事によって、今まで出せなかった自分を出して、素になる事が出来ました。この事が、今回の宿泊研修の中で、一番大きかったと思います。

また、スタディサプリの適性検査の結果も、とても印象に残っています。私は将来何になるか、ほんやりとしか考えていなく、興味がある事をなんとなくやれる仕事につければいいやと適当に思っていました。しかし、結果にあつた職業が、自分のなんとなく考えていたことと全く違い、とても衝撃を受けました。自分が知らなかった、私の得意な事や性格が今回の診断でわかる事が出来て、本当に良い機会になり、考えなおすきっかけにもなつて、本当に良かったと思います。また、ただやらされて勉強するというのが普通だと思っていました。将来の大学や職業を決めるといふ事が、ただの夢ではなく、今この時と直結するといふ事を、思いしらされた気がします。

「まだ高校一年だから」ではなく、「もう高校一年だ」に自分の中でしっかりと切り替えて、高校生活を過ごして

いきたいです。そして、今のうちに自分と向き合おうと思いました。

この研修で学んだ事は、色々な意味で本当に大きかったです。なんとなく最近さびしかったので、この大人数で三日間過ごす事に、すごく楽しさを感じる方が多かったのだで良かったです。

体育レクで感じた団結力も、自分のはげみになりそうです。今回学んだ多くの事を忘れず、勉強面でも生活面でも、仲間の存在を感じて、頑張りたいです。



研修を通して

一年二組 長堀 祐奈

私は日本語が好きです。日本語ほど美しく洗練された言語はないと思います。そう思いはじめたのは中学三年生の夏でした。それから私は大学に進学し、日本語や日本文学について学びたいと思いはじめ大学進学に力を入れているこの手稲高校に入学しました。

高校に入ると二年次のこの時点から大学進学を意識した進路学習が多いという事に驚きました。そうした中で自分自身で学びたい学部・学科のある大学を調べました。家計負担を考え国立大学への進学を目標としました。

しかし、調べて出てきた大学名はどれも難関校ばかりで私は少し気持ち弱くなってしまい、更に日々の授業の中で増々不安がつるばかりでした。

そんな中で行われた宿泊研修。研修四、進路についての時間。私は自分の考える将来は本当にこれで良いのか、どんなに苦労する道なのかを考える大切な時間だと思ひ参加しました。

この研修ではまず選択の幅について知ることが出来たと思います。職業を見据えた選択。家計的な選択。学びたいことを選択。私は今学びたいという点で大学を選択していました。しかし、就職を考えると学びたいことを活かせる職業を見つけられないのも現実です。

もう一つ日々の勉強の大切さを知りました。特に高校の始まったこの時期からの大切さです。基礎となるこの時期をおろそかにしてしまうとこれからの三年間が大きく変わってしまうということがわかりました。

私はこの研修を通して改めて目指している将来を実現する難しさを実感しました。それでも私はこの道を進んで

いきたいと思ひます。日々の学習を一つ一つ丁寧にこなし、一歩一歩着実に目標に近づいていきます。



〔決勝トーナメント戦〕
 手稲 0-2 科学大高
 高体連札幌支部大会
 (予選グループ戦)
 手稲 2-0 平岡
 (決勝トーナメント戦)
 手稲 0-2 白石



●男子テニス部
 札幌支部春季大会
 (団体戦)
 初戦敗退 対 札幌東陵 1-2
 (男子ダブルス)
 鎌田・高橋燈 3回戦進出 対 札幌英藍
 渡邊・渡部 2回戦進出 対 琴似工業
 渡邊 初戦敗退 対 北広島西
 佐々木 初戦敗退 対 科学大高
 大塚 0-0 6
 0-0 6
 0-0 6
 0-0 6

●女子テニス部
 札幌支部春季大会
 (団体戦)
 2回戦進出 対 あすかぜ 0-1
 2回戦進出 対 北海 0-3
 (男子ダブルス)
 渡邊・渡部 2回戦進出 対 札幌平岡
 奥村・高橋灯 初戦敗退 対 立命館
 (男子シングルス)
 鎌田 1回戦進出 対 札幌西陵
 渡邊 2回戦進出 対 立命館
 佐々木 初戦敗退 対 科学大高
 大塚 1-0 6
 0-0 6
 0-0 6
 0-0 6

●女子バレーボール部
 札幌支部春季大会
 (団体戦)
 1回戦勝利 対 札幌東陵 2-0
 2回戦敗退 対 札幌西陵 0-3
 (女子ダブルス)
 石村・阿部 1回戦勝利 対 札幌東陵 6-6
 2回戦勝利 対 札幌西陵 6-6
 3回戦進出 対 札幌西陵 6-6
 1回戦敗退 対 札幌西陵 6-6
 (女子シングルス)
 谷藤・谷藤 2回戦勝利 対 札幌東陵 6-6
 石村 2回戦勝利 対 札幌西陵 6-6
 阿部 2回戦勝利 対 札幌西陵 6-6
 山科 2回戦敗退 対 札幌西陵 6-6

●サッカー部
 札幌支部春季大会
 予選グループE
 札幌新川 1-1

札幌東豊 4-0
 札幌白陵 2-0
 2勝1分け 決勝トーナメント進出
 1回戦 札幌南 0-0 P.K (4-3)
 2回戦 石狩南 1-1 P.K (2-1) ベスト8
 高体連札幌地区大会
 1回戦 札幌龍谷 1-5

●ソフトテニス同好会
 春季大会
 (団体戦 男子)
 手稲高校 0-3 北陵
 (個人戦 男子)
 小坂橋・岡村 1回戦 ④① 北
 山本 佐野 2回戦 ④① 北
 山下・中矢 2回戦 ④① 山
 木下 中矢 3回戦 ④① 山
 能塚・林 3回戦 ④② 東
 能塚 2回戦 ④② 科学大高
 手塚・風林 1回戦 ④② 南
 2回戦 ④② 石狩南

●剣道部
 北海道剣道別選手権予選会
 小川 男子式段の部 予選1位
 岡本 男子式段の部 予選2位
 高体連札幌支部大会
 (男子団体戦 予選リーグ)
 対北海 0勝5敗0分 敗退 ※予選リーグ敗退
 対札幌啓成 0勝5敗0分 敗退 ※予選リーグ敗退
 (佐々木個人戦)
 石森 1回戦 対北広島 2本負け
 岡本 2回戦 対札幌旭丘 2本負け
 小川 3回戦 対北星附属 2本負け
 3回戦 対北広島 1本勝ち
 4回戦 対東海大札幌 2本負け

●水泳部
 高体連札幌支部大会
 (男子個人形)
 相川 準決勝進出
 (女子個人形)
 中村 準決勝進出 第6位
 大谷 準決勝進出
 (男子団体形)
 選手負傷のため 棄権
 (女子個人組手)
 新田 初戦敗退
 (男子団体組手)
 初戦敗退
 (女子団体組手)
 ベスト4進出

●弓道部
 第70回北海道弓道大会 (少年の部)
 (女子団体)
 第3位 (松本志穂、伊藤佑那、高川優米)
 (男子個人)
 優勝 渡辺 圭
 第5位 原田 雅彦

●空手道部
 高体連札幌支部大会
 (男子個人形)
 相川 準決勝進出 全道大会進出
 針生 準決勝進出
 (女子個人形)
 中村 第5位
 大谷 第6位
 若名 準決勝進出
 東本 準決勝進出
 中村 大谷 全道大会進出
 (女子団体形)
 優勝 全道大会進出

●放送局
 北海道高等学校文化連盟第41回全道高等学校放送発表大会兼
 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト石狩地区大会
 アナウンス部門
 小池 流菜 3-2 8位 (全道大会進出)
 倉科 志樹 3-2 8位 (全道大会進出)
 島田 恵吾 1-1 4位
 水谷 梨香 1-1 82位
 朗読部門
 竹達 愛紗 2-1 15位 (全道大会進出)
 水根 将樹 2-1 59位
 岩田 成美 2-1 70位
 山本 瀬那 2-1 11位
 ラジオドキュメント部門
 テレビデオドラマ部門
 創作ラジオドラマ部門
 研究発表部門
 3位 6位 13位 14位
 (全道大会進出)

●合唱部
 高文連石狩支部演奏会 参加
 ●吹奏楽部
 高文連石狩支部演奏会 参加
 ●図書局
 高文連石狩支部図書リレー1研修会 参加
 ●ESS
 全道高等学校英語プレゼンテーションコンテスト
 1チーム出場 決勝ラウンドに進出するとはできませんでした

平野 100メートル背泳ぎ 5位 (全道)
 佐々木 200メートル背泳ぎ 3位 (全道)
 福良 100メートル自由形 6位 (全道)
 笹治 200メートル自由形 4位 (全道)
 柳瀬 50メートル自由形 (予選)
 200メートル個人メドレー (予選)
 100メートル自由形 9位 (全道)
 1500メートル自由形 6位 (全道)
 100メートル背泳ぎ (予選)
 女子400メートルメドレーリレー (予選)
 (平野・佐々木・福良・笹) 4位 (全道)

●将棋同好会
 平成29年度高文連石狩支部囲碁将棋春季大会
 (団体戦)
 スイス式トーナメント6回戦 第10位 北本、森田、伊藤
 (個人戦)
 スイス式トーナメント6回戦 西手 23位
 渡部 45位

●吹奏楽部
 高文連石狩支部演奏会 参加
 ●合唱部
 高文連石狩支部演奏会 参加
 ●図書局
 高文連石狩支部図書リレー1研修会 参加
 ●ESS
 全道高等学校英語プレゼンテーションコンテスト
 1チーム出場 決勝ラウンドに進出するとはできませんでした

●水泳部
 高体連札幌支部大会
 (男子個人形)
 相川 準決勝進出
 (女子個人形)
 中村 準決勝進出 第6位
 大谷 準決勝進出
 (男子団体形)
 選手負傷のため 棄権
 (女子個人組手)
 新田 初戦敗退
 (男子団体組手)
 初戦敗退
 (女子団体組手)
 ベスト4進出

【写真：女子バレーボール部】

【写真：女子バスケットボール部】

【写真：弓道部】

平成29年度(41期生)の入試を振り返って

進路指導部長 浅井 宏信

第41期卒業生の進学実績は、北大現役6名を含む国公立大学122名、道内及び有名私立大学、看護学校多数という結果でした。これは、富田年次主任をはじめとする年次団が生徒一人一人に寄り添い、強い信頼関係が生んだ結果でしょう。それは、講習の受講率が毎回90%を越え、模擬試験でも受験者が減らないまま、本番を迎えたことからわかります。また、前期試験では残念な結果であった生徒も、後期試験まであきらめずに努力を重ね、複数の生徒が合格を勝ち取りました。

(進路指導資料の体験談をご参照ください)

年次団との強い絆、本校の指導方針をご理解いただいた上で、お子様を支え続けられたご家族の応援、そしてなにより生徒自身の努力の相乗効果が生んだ結果だと思えます。

本校では、生徒の「夢と希望」を実現してもらうため、北海道内にこだわらず、本州の国公立大学や私立大学を広く考えてもらっています。

今後も授業を中心に講習・添削・面接指導・模擬試験等で進路指導体制の充実と強化を図ってまいります。

……平成29年度(41期) 進路状況一覽(合格者数) *過年度は判明分のみ掲載……

(1) 国公立大学	現役	過年度卒	合計
北海道大学	6	6	12
小樽商科大学	15	1	16
北海道教育大学	26	2	28
室蘭工業大学	10	1	11
北見工業大学	5		5
札幌医科大学	2		2
札幌市立大学	6		6
釧路公立大学	4		4
名寄市立大学	5		5
はこだて未来大学	2		2
弘前大学	10		10
岩手大学	4	1	5
山形大学	4	1	5
福島大学	1		1
新潟大学	2	1	3
群馬大学		1	1
信州大学	1		1
静岡大学		1	1
鳥取大学	1		1
岡山大学		1	1
宮崎大学	1		1
鹿児島大学		1	1
高崎経済大学	5		5
都留文科大学	3		3
横浜市立大学	1	1	2
名桜大学	1	1	2
その他	6	1	7
合計	122	20	142

(7) 就職	現役	過年度卒	合計
北海道警察	1		1
札幌市職員 一般事務	2		2
札幌市職員 消防	1		1
自衛官 曹候補	1		1
自衛官	1		1
合計	6	0	6

(2) 道内私立大学	現役	過年度卒	合計
札幌大学	10		10
札幌大谷大学	3		3
札幌学院大学	18		18

札幌国際大学	5		5
天使大学	12		12
藤女子大学	87	1	88
北翔大学	3	3	6
北星学園大学	41		41
北海学園大学	105	6	111
北海道商科大学	2		2
北海道医療大学	18		18
北海道科学大学	61	2	63
北海道情報大学	2		2
北海道文教大学	20	1	21
北海道薬科大学	8	1	9
酪農学園大学	9	1	10
千歳科学技術大学	3		3
その他	15	1	16
合計	422	16	438

(4) 私大短期大学	現役	過年度卒	合計
北海道武蔵女子短期大学	12	1	13
光塩大学女子短期大学部	1		1
その他			0
合計	13	1	14

(5) 看護系専修学校	現役	過年度卒	合計
北海道医療センター	9		9
勤医協札幌看護専門学校	4		4
市立小樽看護専門学校	4		4
中村記念病院附属看護学校	2		2
岩見沢市立高等看護学院	2		2
市立函館病院高等看護学院	1		1
その他	6		6
合計	28	0	28

(3) 道外私立大学	現役	過年度卒	合計
学習院大学	1		1
駒澤大学	3		3
白百合女子大学	2		2
芝浦工業大学		5	5
成城大学	1		1
専修大学	2		2
創加大学	2		2
大東文化大学	3		3
拓殖大学	2		2

中央大学	3		3
東海大学	3	4	7
東京経済大学	1		1
東京電機大学	1		1
東京農業大学	2		2
東洋大学	4	1	5
日本大学	3	1	4
法政大学	4		4
明治大学	1	1	2
明治学院大学	1		1
神奈川大学	1	1	2
金沢工業大学	2		2
愛知工業大学	1		1
南山大学	2		2
立命館大学	1		1
龍谷大学	3		3
大阪体育大学	1		1
その他	10	2	12
合計	60	15	75

(6) 準大学	現役	過年度卒	合計
北海道職業能力開発大学校	1		1
合計	1	0	1

編集委員

今回担当 3年次

松田夏美 田部恵美 朝部佳子 北林正二 久門恵子 大西正二 加藤剛